

1. 件名

岩根学区総合防災訓練について

2. 趣旨等

岩根小学校区は、6つの自治会（区）に分かれており、それぞれの区において、消防団組織および自治消防の組織はすでに整い、消防車両についても6台配備されている。また、防犯活動については、県防犯協会から表彰されるなど登下校時のパトロール、地域の巡回等が行われている。

しかし、さらに地域住民の安心と安全を図るためには、緊急避難所も限られるなど不十分な面もあり、災害に対する知識・救助法・救出法に関する知識を学び、資機材を使用した訓練や学習を行うことにより、地震や雨による土砂災害等の災害時に強いまちづくりができる。また、6区が横のつながりを持ち、また地域の各組織と連携することで、より災害・犯罪に強いまちづくりができるのではないかと考える。

そうした中、岩根まちづくり協議会は、湖南市において初めて小学校区内の自治会が1つになった協議会として発足。岩根学区市民のだれもが安心・安全に暮らせる活力溢れる岩根地域とするきっかけになればとの思いから地域安全ステーション整備モデル事業に応募したところ採用され、今年度実施の運びとなった。

3. 実施要綱

(1)訓練日時 平成 20 年 8 月 24 日（日） 午前 9 時～11 時 30 分

(2)訓練場所

第 1 次避難・・・開始時は各区内（6 区）避難場所集結

集結（午前 9 時 30 分）後速やかに第 2 次避難場所へ移動

第 2 次避難および訓練場所・・・岩根小学校運動場

(3)参加人数 約 200 名

(4)主 催 岩根まちづくり協議会

(5)共 催 朝国区・岩根東口区・岩根東区・岩根西区・岩根花園區・正福寺区

(6)被害想定

湖南市地域は、数日前からの不安定な気象により相当量の降雨があった後、平成 20 年 8 月 24 日、午前 8 時に湖南市地域を震源とした大地震が発生した。岩根学区内において、多数の家屋崩壊、負傷者が出るなど、多くの被害が発生した。

そのような中、余震が続き、さらに被害が大きくなる恐れがあり、現地対策本部を岩根小学校運動場に設置（午前 9 時）し、周辺住民に自主避難命令を発令（午前 9 時 15 分）した。

午前 9 時 30 分頃、周辺住民の避難がほぼ完了し、避難施設の設置準備。

午前 10 時頃、2 度目の大きな揺れが発生する。この揺れにより、1 度目の揺れで亀裂の入っていた小学校南側校舎の 1 階が一部倒壊し、中で物資搬送していた数名が負傷し校舎内に取り残された。

1 階より 1 名担架搬送、屋上より梯子救出 3 名。また、山林より出火、小学校への延焼の恐れがある。

(7) 訓練内容

| | |
|---------------|--|
| 午前 9 時 40 分～ | 水消火器による初期消火訓練（各区区民、保護者・児童等） |
| 午前 10 時 ～ | 119 番通報 消防署各隊出動 3 隊（梯子車・タンク車・救急車） |
| 午前 10 時 5 分～ | 消防隊現場到着 要救助者の救出（3 名梯子にて救出） 地元消防団・地域防災隊の要請 応急救護所の設置（タンク車・救急車） エアートントの設置（タンク隊・救急隊） トリアージの実施（生田病院・救急隊） 重傷者 1 名を防災ヘリにて病院に搬送 応急処置の実施（負傷者 12 名の内 10 名） 日赤奉仕団対応 |
| 午前 10 時 10 分～ | 重傷者のヘリ搬送要請 |
| 午前 10 時 15 分～ | 地元消防団・地域防災隊による山林消火 （グラウンドへの散水・ヘリのダウンウォッシュ対策） |
| 午前 10 時 30 分～ | 防災ヘリ負傷者の搬送（重傷者 1 名） （グラウンド上空より隊員のリベリング降下・バーティカル担架にてヘリに収容） |
| 午前 10 時 50 分～ | 防災ヘリにて救出した負傷者を親水公園に搬送 梯子車より放水（タンク車自己水使用） |
| 午前 11 時 ～ | 鎮火・撤収 非常食の配布 |
| 午前 11 時 10 分～ | 閉会式 |

(8) 実行委員会委員

岩根学区各区長・副区長
岩根まちづくり協議会委員
湖南省消防団第 8・9・10 班班長
岩根小学校 PTA 会長・副会長・岩根小学校長・教頭
岩根学区民生児童委員学区長・副学区長
岩根学区老人クラブ代表・各区日赤奉仕団代表
各区エルダーふじん会・岩根青少年育成学区民会議代表
甲賀広域行政組合消防本部・湖南中央消防署
滋賀県防災航空隊・甲賀警察署下田交番
湖南省安心安全課・岩根公民館・岩根会館

4. 問い合わせ先

岩根まちづくり協議会事務局
（まちづくり推進課地域コミュニティ担当・岩根公民館内）
TEL:0748-72-7871